



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2022 8



7月1日、兵庫県民会館において「第100回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。県内の生協・農協（JA）・漁協（JF）・森林組合（JForest）の組合員や役員など、234人（会場184人、オンライン50人）が参加しました。また、作家 玉岡 かのる氏が「賀川ハル〜豊彦の妻として、同志として〜」をテーマに記念講演を行いました。（関連ページP.3）





兵庫県生活協同組合連合会  
専務理事

## 江見 淳

(えみ・じゅん)

## 原点回帰

6月27日に開催いたしました兵庫県生協連第72回通常総会で理事に選任され、また、兵庫県生協連の専務理事を拝命いたしました、江見です。長い歴史をもつ連合会の運営に関われる喜びとともに、その足跡の偉大さに心引き締まる思いです。今後とも会員生協・団体や関係者のみなさまの力と知恵をあわせて、未来に向けて協同組合の可能性が拡がっていくよう努めてまいります。さて、自身の話で恐縮なのですが、私は生活協同組合コープこうべが、前身の「灘神戸生活協同組合」の時に入所しました。ちょうど日本がバブル経済といわれた頃で、就職にあたっては多くの選択肢がありました。個人的には地元に近いところで接客業がしたいとの思いから、小売業やサービス業を狙って就職活動をしていました。しかし第一希望であった百貨店からは内定が得られず、スーパーマーケット各社は、全国各地への赴任が条件づけられていたため決定を躊躇していました。最後に試験と面接を受けた生協は、下宿先の近所に店舗があった商品が独特であったため就職先の一つに選んでみたという感じでした。面接後、同じく就活していた友人の母親から、「世のため人のために働くなら生協は間違いない」とアドバイスされ、それが決定打となって生協への入所を決めました。思い返すと主婦であった

友人の母親は生協の組合員で、生協運動の一端としてコープの商品を利用することに誇りを感じておられました。そして入所から35年間、その母親と同様に生協を通してくらしと社会を良くしたいという想いをもった多くの組合員に叱咤激励されて今に至ります。そしてずっと組合員から教わり続けています。

仕事が変わり、毎年の総代会や総会に携わるたびに、社会環境が変わり世代が変わっても、生活協同組合は組合員の「参加」で成り立っていること、組合員は生協をとおして健全な社会づくりに参加しているということを実感します。そして今、連合会という会員生協・団体の協同参加で成り立つ組織の運営を担うにあたっても、同じことを感じていきます。

7月1日に開催された協同組合デーの記念講演で、作家の玉岡かおる様から賀川豊彦とその妻ハルのお話をいただきました。協同組合の理念とそれを支える組合員、まさにその関係を重ねつつ拝聴いたしました。生協の専従者としての原点に立ち返る機会を得て、改めて進むべき道を見据えて精進しようという決心した次第です。今後ともよろしくお願いいたします。

## CONTENTS

2. 想点
3. 国際協同組合デー・兵庫県記念大会
4. 生活問題研究会 報告／単協人事
5. 単協通信 近畿労働兵庫兵庫地区本部／事務局人事異動あいさつ
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. ピースアクション2022 映画上映会のご案内／  
県連行事予定／編集後記

# 「国際協同組合デー」 兵庫県記念大会」を開催

7月1日、兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、「協同の力で未来を拓く」をテーマに、「第100回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催しました。兵庫県、神戸市をはじめ、多くのご来賓の皆様、兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催者団体の組合員、役職員など、234人が参加しました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められています。兵庫県ではこの日を受けて、毎年7月に記念大会を開催しています。また同日には、第39回兵庫JCC委員会が併せて開催され、各協同組合（連合会）のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

当日は、河合貴則さん（兵庫県森林組合連合会）の司会で開幕。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、オンラインライブ配信と合わせて234人が参加されました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県漁業協同組合連合会 田沼政男代表理事会長が挨拶。続いて、兵庫県副知事 服部洋平様、神戸市経済観光局農政担当局長 安岡正雄様、日本協同組合連携機構 代表理事専務 比嘉政治様からご祝辞をいただきました。

最後に、生活クラブ生活協同組合都市生活理事長 小谷里香様が「兵庫JCCはお互いの特徴をいかした協同組合間連携を進め、様々な地域課題の解決に貢献する協同組合人の育成に取り組んでいます。国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて重要な担い手のひとつであることをあらためて認識し、ともに力を尽くし貢献しましょう」と、「第100回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会兵庫JCC宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部の記念講演では、作家 玉岡かおる氏を迎え、「賀川ハル／豊彦の妻として、同志として」と題して記念講演。当時の人々の苦しい生活の状況や、それを何とか改善しようとする粉にして奮闘した賀川豊彦、ハル夫妻の活動をお話いただきました。



挨拶する田沼 政男  
兵庫県漁業協同組合連合会  
代表理事会長



司会  
兵庫県森林組合連合会  
河合 貴則 さん



兵庫 JCC 宣言を読み上げる  
生活クラブ生活協同組合都市生活  
小谷 里香 理事長



一般社団法人  
日本協同組合連携機構  
比嘉 政治 代表理事専務



神戸市 安岡 正雄  
経済観光局 農政担当局長



兵庫県 服部 洋平  
副知事

## 第100回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 兵庫 JCC 宣言

本日、第100回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催し、兵庫県内の生協、農協、漁協、森林組合の協同組合関係者が一堂に会し、心ひとつに協同組合運動のさらなる発展を誓う日を迎えました。

国際協同組合同盟（ICA）は、第100回国際協同組合デーのスローガンを「協同組合はよりよい社会を築きます」としました。世界の平和と安全が脅かされつつある今こそ、人と人が心から結びつき困難を乗り越えて行くことのできる協同組合の価値を発揮するときではないでしょうか。

ロシア軍によるウクライナ武力侵攻は多くの無辜（むこ）の市民を巻き込む侵略行為であり断じて容認できません。兵庫 JCC は、世界が一致して対話と外交による解決をはかり、一刻も早くウクライナの人々に平穏なくらしが取り戻されることを心より願います。

国内では新型コロナウイルス感染症の発生から2年以上がたちましたが、未だ予断を許さない状況が続いています。長引くコロナ禍の影響に加えて不安定な国際情勢が追い打ちをかけ、食料をはじめ原油や生産資材の価格が高騰し、物価の上昇や農林水産業への深刻な打撃をもたらしています。

私たちを取り巻く環境問題も深刻さを増しています。地球温暖化の進行が巨大台風や豪雨災害など異常気象の要因と言われ、人間が自然環境や生態系を損ない続けてきた報いを受けているかのようにも感じられます。次の世代に美しい地球を引き継ぐために、協同の力で何ができるのか考え実践していかなければなりません。

兵庫 JCC においては、協同組合の父と呼ばれる賀川豊彦の理念を共有するそれぞれの団体が互いに連携して、兵庫の豊かな環境を守るため、生産と消費のつながりを大切にしたエシカル消費の推進や、様々な地域課題の解決に貢献する協同組合人の育成に取り組んでいます。また、日本協同組合連携機構（JCA）を通して全国の事例を学びながら、さらなる連携強化に取り組んでいます。

私たち兵庫 JCC は、国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、協同組合がその重要な担い手の一つであることをあらためて認識し、ともに力を尽くし貢献することをここに宣言します。



「第39回兵庫 JCC 委員会」が開催されました

兵庫 JCC =  
兵庫県協同組合連絡協議会とは  
【Hyogo-ken Joint Committee  
of Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）は、兵庫県内の生協、JA（農協）、JF（漁連）、JForest（森林組合）の相互交流と連携を目的に、1984年7月の第62回国際協同組合デーを機に設立したもので、今年で39年を迎えました。

# 兵庫県生活協同組合連合会 第1回「生活問題研究会」を開催

7月8日、第1回生活問題研究会を県民会館で開催しました。

この研究会では2021年度から「農福連携（障がいがある人をはじめとする多様な人が、農業などの分野で活躍することを通じて持続可能な共生社会を生み出す取り組み）」のテーマに沿って、生協がどのような役割を果たせるかを考えています。

2年目の第1回目は研修会として、園芸療法士 小川和豊氏から、「そだちの支援と園芸療法」と題してご講演いただきました。実習の様子がわかる写真を多く紹介いただき、園芸療法の言葉の意味や具体的な活動の様子をつかみました。また、「就労支援」「定着支援」という言葉から、「農福連携」の言葉の持つ意味を深掘りして考えることが出来ました。

研修会終了後は、就労後の利用者の様子や受け入れ先の考え方、園芸療法の効果などの質疑応答がありました。

生活者、消費者として私たち生活協同組合が出来ることを考えるため、10月には「農」をコミュニケーションツールとして共生社会の実現を目指している、特定非営利活動法人百生一輝 就労継続支援B型ふぉーふーむ様の見学を計画しています。



園芸療法士 小川和豊氏



会場参加で開催しました

## ◆ ◆ ◆ 会 員 生 協 ・ 団 体 人 事 ◆ ◆ ◆

生協名	役職名	氏 名
尼崎信用金庫職員生活協同組合	組 合 長	矢切 忍
関西学院大学生生活協同組合	専 務 理 事	齊藤 和久
甲南大学生生活協同組合	理 事 長	西村 順二
大手前大学生生活協同組合	理 事 長	芳田 茂樹

生協名	役職名	氏 名
大手前大学生生活協同組合	専 務 理 事	齊藤 和久
姫路市民共済生活協同組合	理 事 長	柏原 浩明
姫路市民共済生活協同組合	専 務 理 事	中川 勝正
近畿労働金庫	理 事 長	江川 光一

## 近畿労働金庫兵庫地区本部

### ろうきん教育ローンの利用が地域の子育て支援につながる ～2021年度「近畿ろうきんNPOアワード」受賞団体決定～

「近畿ろうきんNPOアワード」は、はたらく仲間の《ろうきん》利用が、地域貢献につながる仕組みをめざした公募型の助成プログラムです。

2021年度は近畿一円の66件の応募の中から、厳正な審査により11団体の受賞を決定。大賞には兵庫県「東灘こどもカフェ」が輝きました。※受賞11団体の詳細は近畿ろうきんホームページで紹介しています。

今回の応募内容の特徴として、コロナ禍により顕在化・深刻化している子育ての課題への対応（子どもの学習支援、子どもの居場所づくり、子ども食堂、不登校の子どもと親の支援、障がい児支援など）が多くみられました。いずれも社会的ニーズにもとづく切実なものばかりです。

本アワードは2006年度から実施し、これまで169団体に総額3,666万円の

助成金をお届けしてきました。《ろうきん》の特性を生かした社会に役立つ事業として、今後も、兵協連に集う皆さんや、《ろうきん》の会員組合に広く知っていただけるよう努めていきます。

（通信員 井奥眞貴子）

**近畿ろうきんNPOアワード**  
「子どもの成長を応援する事業」「子育て環境を整える事業」を実施する近畿圏のNPO等の団体から事業プランを公募し、審査委員会の審査によって受賞団体を決定する助成制度です。年間教育ローン新規ご融資額の0.05%（最大250万円）を受賞団体に助成しています。



## 兵庫県生活協同組合連合会より ～事務局人事異動あいさつ～

### ●退任のご挨拶

松岡 久雄



在任中、新型コロナ感染拡大が続く中、会員、行政、JCC等多くの方のご協力で活動を継続できたことに心より感謝申し上げます。医療や介護、店舗・宅配、共済給付、大学食堂など、様々な最前線でコロナに負けずらしを支える生協の力を実感する日々でした。これからも連合会のつながりを生かして県下の生協が発展されることを祈ります。この3年間、本当にありがとうございました。

### ●就任のご挨拶

江見 淳



このたび第72回通常総会において新任理事に選任され、専務理事を拝命しました江見淳です。生活協同組合コープこうべ出身で1988年の入所です。入所当時は宅配事業、その後店舗事業の現場業務に携わっている頃、阪神・淡路大震災で被災しました。その時遭遇したのが、生協の仲間が連携し復興を支える姿です。多くの人の想いを集めて困難な状況を克服する、まさに協同組合の理念を体感しました。現在も、自然災害のみならず戦争、病気など人類の存在を揺るがす事象は無くなりません。その困難を克服する知恵として協同組合間の協同はこれからも必要とされます。私はその専任として、常日頃から共に考え、試行し学ぶしくみとしての兵庫県生協連がより活発に機能するよう全力を尽くしたいと存じます。今後とも会員生協や関係者のみなさまのご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いたします。

# 協同組合のかけ橋

FCJ

## 鹿之瀬会

### 豊かな海を取り戻すために 海底を耕し、海に栄養を

海底で硬くなった土や泥、砂などの蓄積物を掘り起こすことで、中にたまっている窒素、リンなどの栄養塩を海に放出し、柔らかくなった海底では二枚貝等の底生生物が生息しやすい環境につながります。

鹿之瀬会（会長 田沼政男）では、豊かな海の再生に向けた取組として、明石海峡西沖にある鹿之瀬海域の栄養塩及び海底環境を改善するため、漁業者が小型漁船で爪の付いた専用の桁（けた）をひき、海底を耕す海底耕耘を実施し、海域の環境改善に取り組んでいます。

明石市4漁協（明石浦、林崎、東二見、西二見）と淡路西浦4漁協（富島、浅野浦、育波浦、室津浦）が連携し、令和4年5月8日には32隻、10日には44隻の漁船が専用器具を取り付け、穏かな波のなか、明石海峡の西側にある鹿野瀬海域をゆっくり何度も往復し海底を耕しました。

また、10日にはダイバーが海底の採泥を行う底質調査を実施し、エビ類や二枚貝などの底生生物、表層の泥が取り除かれ、下層の泥が表面に出ている様子が確認されました。

海底耕耘はすぐに効果が現れるものではないですが、海の貧栄養化が進む瀬戸内海の栄養塩濃度や生物の生息環境を改善し、豊かな海を再生するために、今後も引き続き取り組んでいきたいです。



桁で海底を耕す様子

JA

## JA 加古川南

### 直売所を活性化させ、 地域農業を盛り上げます!

JA 加古川南は、地区の多くが市街化区域で広い農地を確保することが難しい中、ファーマーズ運営協議会（以下、「協議会」という。）と協力し、限られた農地を最大限に活用して、直売所を拠点とした地域農業の活性化に取り組んでいます。

同協議会は、生産者が協力して直売所を運営、利用し、地域農業の向上を図ることを目的に、同JAの直売所出荷者106人で構成されています。同協議会の会長である久保田清さんは15年前に就農し、夏はキュウリ、ナス、オクラなど、秋から冬には白菜や大根、九条ネギなど年間で約30品目を栽培しています。季節に合わせた多品目の農作物を1年間途切れることなく出荷するため、栽培と収穫時期のバランスを考えた緻密な年間計画を立てています。また、より多くの品目に対応した防除を行うために、効率的な栽培ができるよう日々試行錯誤しています。

同JAで営農経済事業を担当している芹内隆志さんは、「久保田さんは、次々に新しいことに取り組み、協議会の会長として周りの生産者、JA加古川南の農業を引っ張る存在」と話されます。一方、久保田さんは「芹内さんは、連作障害や病気など困ったときにはすぐに駆けつけて、相談にのってくれる頼もしい存在」と信頼を寄せています。

JA 加古川南は、生産者に多品目の農作物を栽培・出荷してもらうことを基本に、協議会と協力し、直売所を拠点とした地域農業の活性化に取り組んでいます。



生育状況について話す久保田さん(左)と芹内さん



# 「消費者力アップ体験学習会」

～ 消費生活総合センターでやってます～

消費生活総合センターでは、消費者力アップのための体験学習会を皆様の要望に応じて、随時開催しています。

身近な商品を自分でテストして確かめたり、最新の悪質商法の手口を体験してみたり、楽しく学んで、消費者力アップ！

豊富なメニューから選んで、お好きな日に、子どもから大人まで誰でも参加できる人気の講座を当センターで体験してみませんか。お申し込みはお早めに！県立消費生活総合センター内、消費生活情報プラザまで。

- ▶実施期間：令和4年5月～令和5年3月
- ▶実施場所：県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ
- ▶対象：兵庫県内在住・在勤の方（4名以上で15名程度までのグループ）
- ▶参加費：無料
- ▶体験学習会のメニュー例

### 商品テストコース

「家庭に身近な化学物質」「食品の糖度・塩分」など

### 消費生活コース

「悪質業者にまけんぞう！スゴロク」「SDGsな商品選び」など

### ▶申し込み方法

開催日の1か月前までに申込書によりお申し込みください。  
(内容・日程等は、当センターと協議の上決定します。)



悪質業者に負けんぞう！スゴロク



家庭に身近な化学物質



お申込みはこちらから

### 【申込み・問合せ先】

兵庫県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ（消費者力アップ体験学習会担当）

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4丁目2

電話：078-302-4001 FAX：078-954-5640 E-mail：shohi\_sogo@pref.hyogo.lg.jp

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

暑い暑い毎日が続きますね。私、暑いのが、どうしても苦手なのです。成年後見のお仕事で高齢者施設へお邪魔することもあるのですが、その際、体温計を渡され測ると、37度あることがあります。もともと体温も高いのですが、この暑い中を歩いていれば体温も自然と上がってしまいますよね。（そんなことはないのかな）熱中症対策のためこまめな休憩を、と思い、チェーン店の喫茶店に入ることも増えました。すると最近、こんな光景を目にすることが増えたのです。

20代前半くらいのスーツ姿の女性と大学生くらいの私服の男性が、楽しそうに世間話をしているのです。友人関係というわけではなさそうな話しぶりで、テーブルの上には、なにやら資料がたくさん置いてあります。世間話も落ち着くと「先日、お話しした保険のことは考えてくれましたか?」と女性が男性に問いかけるのでした。「まだ、よくわからなくて」と男性がこたえます。そうです、保険の勧誘の現場です。私、最近、喫茶店によく入る関係で、このような光景をよく見かけるのです。保険の勧誘について、次回、今一度、考えてみたいと思います。



ひょうご消費者ネット  
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com

# MOVE

「同情は求めていません。  
人々に行動してほしい。  
そのために私は  
語り続けるんです。」  
——サーロー節子



映画上映前に、プロデューサー  
竹内 道氏（ニューヨーク在住）  
からこの映画にける想いをお  
話いただきます！（オンライン  
（Zoom）でつながります）

ピースアクション2022

## 『ヒロシマへの誓い』映画上映会

～サーロー節子とともに～



お問い合わせ

兵庫県生活協同組合連合会まで。  
TEL 078-391-8634  
(月～金 10:00～17:00)

13歳の時に広島にて被爆し、300数名もの学友を瞬時に亡くしたサーロー節子。全世界へ向けて平和活動をする彼女を4年間にわたって密着取材。さらに被爆2世である本作のプロデューサー・竹内道が、節子との出会いを通して自身の家族の被爆の歴史に目を向け、被爆2世としての自分を見つめ直していく姿を描く今、必見の感動作です。

2022年9月15日(木)

13:30～15:30 (開場13:00)

兵庫県民会館 9階 けんみんホール

定員 150人 (申込順)

入場無料

イベントひろば

検索



申し込み方法

- ① パソコン、スマートフォンからコープこうべホームページ イベントひろば 検索、または上のQRコード®から
- ② 「ヒロシマへの誓い」・郵便番号、住所・お名前・電話番号を明記の上、下記申し込み先に送付してください
- ③ 電話 下記申し込み先へ 平日（10時～17時）

申し込み先：〒658-8555 神戸市東灘区住吉本町1-3-19

コープこうべ地域活動推進部 Tel 078-856-1105 Fax 078-856-1248

### 県連行事予定

8月1日(月)

兵協連第2回理事大会

8月8日(月)

兵庫県県民生活部と兵協連理事会との懇談会 (県民会館 鶴)

8月9日(火)

兵庫JCC「虹の仲間づくり」カレッジ

8月26日(金)

兵協連第2回災害対策委員会 (オンライン)

### 編集後記

このページで上映会をご案内している映画『ヒロシマへの誓い』のプロデューサー竹内道さん（ニューヨーク在住）とオンライン（Zoom）でお打合せをしました。通訳を頼まれてヒバクシャ・ストーリーのイベントに参加した際、世界中の活動家の情熱を肌で感じ、サーロー節子さんの生き方を皆に伝える責任感、使命感を感じたことが、ビジネスコンサルタントとしての仕事のかたわら核兵器廃絶に向けた活動の取り組みと、ドキュメンタリー映画を制作するきっかけになったそうです。映画では、たくさんの方の人生や未来を奪った核兵器に対する「怒り」が描かれています。核保有国のアメリカで制作された映画を観て、「長引くウクライナ情勢を「自分手（じぶんごと）」としてどうとらえ、どう行動に変化を起こしたらいいのかを考える一日にしませんか。上映会当日は、竹内道さんにオンライン（Zoom）でご挨拶いただきます。

（吉本）

